

令和2年度 常盤台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の地域課題と考えられるのは、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくり等が挙げられる。  
 (今後の方向性)ケアプラザが福祉保健の幅広い相談窓口として地域に認知されてきており、今後は区の行動計画(アクションプラン)と連携しながら高齢者・子ども・障害者などあらゆる地域住民が、孤立することなく支え合える地域づくりのお手伝いを目指していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○自主事業等の参加者で長期欠席されている方にモニタリング連絡を行い状況確認をしていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○Ayamuデータシステム活用に加えて、高齢者が活用しやすい地域情報一覧やマップを作成する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○地域と横浜国立大学と連携し羽沢横浜国大駅周辺の「サインづくり」に向けて検討し、広報紙等で周知しながら魅力あるまちづくりの推進をする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○従来の地域の見守り「ピーポーワン」事業に「ピーポーワン・ママ」事業を加えて子育て世代にも地域の見守りに参加してもらう。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○ケアマネジャーと地域の関係機関・民生委員児童委員とのネットワークづくりのため、より身近な各連合町内会単位で自治会館に出向き交流・連携を図っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

振り返りの内容を入力する欄

区からのコメント

区からのコメントを入力する欄

# 令和2年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>相談業務において事業者の情報を提示する際は、相談者に一覧表を提示し、相談者の方の意向を聞いた上で、空き状況を確認し、お伝えしていきます。</p> <p>所内会議で、一覧表の提示を再確認して徹底します。</p> <p>相談者の方に、お任せする、と言われた際にも、一覧表をお見せして、再度相談者のご意向を確認していきます。</p>	<p>事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行います。事故予防・事故対応マニュアルは、事務所に誰でも閲覧できるようにしています。</p> <p>介護事故・交通事故・個人情報漏洩(コンプライアンス)事故など、各々の事故においてマニュアル及び連絡網に従い区・市役所、ご利用者ご家族、関係事業者等に連絡・報告を行い適切に対処いたします。所長不在の場合も職員が連絡・報告するよう日頃から周知いたします。</p> <p>また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、ケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、ヒヤリ、ハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行っていきます。</p> <p>再発防止策は現場職員も含めて検討し、ミーティング等を通じて職員全体に周知します。</p>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。	居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。
利用料金・実費負担	自己負担なし(全額保険給付)	自己負担なし(全額保険給付)
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 保健師等 1名(常勤兼務) 社会福祉士 2名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 2名(常勤専従)
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,078,947		16,078,947		16,078,947	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	16,078,947	0	16,078,947	0	16,078,947	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,068,483	0	11,068,483	0	11,068,483	
本俸	4,400,000		4,400,000		4,400,000	
社会保険料	965,000		965,000		965,000	
手当計	5,573,483		5,573,483		5,573,483	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	88,000		88,000		88,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,347,000	0	1,347,000	0	1,347,000	
旅費	18,000		18,000		18,000	
消耗品費	415,000		415,000		415,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	230,000		230,000		230,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	52,000		52,000		52,000	
職員等研修費	25,000		25,000		25,000	
振込手数料	65,000		65,000		65,000	
リース料	150,000		150,000		150,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	292,000		292,000		292,000	
事業費	471,816	0	471,816	0	471,816	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000		264,000	
その他	165,816		165,816		165,816	
管理費	1,615,000	0	1,615,000	0	1,615,000	
光熱水費	745,000		745,000		745,000	
清掃費	310,000		310,000		310,000	
機械整備費	83,000		83,000		83,000	
設備保全費	401,000	0	401,000	0	401,000	
空調衛生設備保守	145,000		145,000		145,000	
消防設備保守	28,000		28,000		28,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	17,000		17,000		17,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	211,000		211,000		211,000	
共益費	0		0		0	
その他	76,000		76,000		76,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,102,648	0	1,102,648	0	1,102,648	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,102,648		1,102,648		1,102,648	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	16,078,947	0	16,078,947	0	16,078,947	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	0	0	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,788,828		27,788,828		27,788,828	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,793,034		5,793,034		5,793,034	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	33,735,862	0	33,735,862	0	33,735,862	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,053,899	0	30,053,899	0	30,053,899	
本俸	14,000,000		14,000,000		14,000,000	
社会保険料	4,390,000		4,390,000		4,390,000	
手当計	11,023,899		11,023,899		11,023,899	
健康診断費	115,000		115,000		115,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	525,000		525,000		525,000	
その他	0		0		0	
事務費	1,900,000	0	1,900,000	0	1,900,000	
旅費	115,000		115,000		115,000	
消耗品費	285,000		285,000		285,000	
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	165,000		165,000		165,000	
通信費	586,000		586,000		586,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	20,000		20,000		20,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	80,000		80,000		80,000	
職員等研修費	80,000		80,000		80,000	
振込手数料	75,000		75,000		75,000	
リース料	357,000		357,000		357,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	137,000		137,000		137,000	
事業費	1,245,963	0	1,245,963	0	1,245,963	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	146,963		146,963		146,963	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	予算：指定額
その他	0		0		0	
管理費	410,000	0	410,000	0	410,000	
光熱水費	173,000		173,000		173,000	
清掃費	89,000		89,000		89,000	
機械警備費	22,000		22,000		22,000	
設備保全費	106,000	0	106,000	0	106,000	
空調衛生設備保守	38,000		38,000		38,000	
消防設備保守	7,000		7,000		7,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	56,000		56,000		56,000	
共益費	0		0		0	
その他	20,000		20,000		20,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	33,735,862	0	33,735,862	0	33,735,862	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	0	0	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和2年度 横浜市常盤台地域ケアプラザ収支予算書<介護保険事業分>

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	13,712		13,712	20,894		20,894			0			0
	その他	0	0	0	243	0	243	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0			0			0
	認定調査委託料	0		0	243		243			0			0
	借入金利息補助金	0		0	0		0			0			0
	設備整備償還補助	0		0	0		0			0			0
		0		0	0		0			0			0
	その他	0		0	0		0			0			0
	収入合計(A)	13,712	0	13,712	21,137	0	21,137	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	2,756		2,756	18,692		18,692			0			0
	事務費	150		150	610		610			0			0
	事業費	0		0	202		202			0			0
	管理費	340		340	1,103		1,103			0			0
	その他	10,466	0	10,466	30	0	30	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0			0			0
	消費税	0		0	30		30			0			0
	介護予防プラン委託料	10,466		10,466	0		0			0			0
	支払利息	0		0	0		0			0			0
	設備整備借入金償還	0		0	0		0			0			0
	拠点区分繰入金	0		0	0		0			0			0
	その他	0		0	0		0			0			0
支出合計(B)	13,712	0	13,712	20,637	0	20,637	0	0	0		0	0	
収支 (A) - (B)	0	0	0	500	0	500	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場。ケアプラザに来てもらう事で子育てに関する情報交換ができる事や相談の場である事などを知ってもらう。	3:養育者及び乳幼児		9・10月は親子で体操・11月はお医者様の話し・令和3年1月パラバルーン遊び・2月お雛様を作ろう。第4木曜日開催。		
2	ときわの森らくらくストレッチ	平成22年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を中心とした体操教室。健康維持、転倒予防を目的とする。	1:高齢者		無理なく、安全に椅子に座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作で進めて行く体操教室。7月9月10月11月令和3年1・2・3月開催予定。		
3	ときわの森美と健康体操	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しい姿勢を保つためのストレッチや心身ともに健康になるための体操を行う。健康な日常生活を送れることを目的とする。	5:地域		脳トレーニング・体幹トレーニング・筋力アップストレッチ・姿勢分析などを少しずつ取り入れて、健康運動指導士が身体の状況を見ながらすすめていき、美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う。概ね毎月第1・3水曜日開催予定。		
4	ときわの森和菓子&パン教室	平成24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	比較的若い世代の方々に参加してもらう事を目的として、イベントなどで活躍できる調理ボランティアの発掘につなげていく。	5:地域		パン作り8月パン作り応用編10月和菓子作り12月クリスマス用パン令和3年2月和菓子作り。		
5	歌声サロン	平成24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中高齢者を対象に開催し、皆で一緒に声を出して歌う事で、地域住民同士の交流を図りながら健康維持につなげていく。	5:地域		昔懐かしい歌や童謡をピアノの伴奏に合わせてみんなで一緒に歌う。又、利用者発表会で披露してもらう。毎月第1火曜日開催。		
6	園芸ボランティア活動	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスの共通部分である施設内及び周辺の整備をしていく事で、きれいな環境維持とボランティアの活動の場、発掘の場につなげていく。	5:地域		2階共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって、季節の花の植え替えを定期的に行う。イベント時には、寄せ植えを作成し販売する。		
7	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っているお子さんと親同士の放課後支援。音楽を通じて交流を図る。	2:障害児・者		音楽療法のできる講師を招いて、発達の統合調整を行う。概ね毎月第1水曜日開催。		
8	あったかほどがやみんなde食堂ヘルキーカーフェ	平成29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子どもから高齢者まで地域住民の孤食を防ぎ、皆で楽しく食事をすることを目的とする。又、廃棄する食材を近隣企業から提供してもらい活用し、食材の無駄をなくす。	5:地域		NPO法人チャット・NPO法人ぎんがむらの協力を得て調理してもらい中学生200円・小学生100円・3歳以上50円・3歳以下無料で食事を提供する。8月・10月・12月令和3年2月開催予定。		
9	ときわカフェ	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民が気軽に立ち寄り交流できる場所を設けて、年齢を問わずカフェに集う事で住民同士のつながりを築いていく。	5:地域		民生委員さんが中心となって、集まった方々にコーヒー・紅茶・お茶に手作りケーキを付けて100円で提供する。障がい者作業所のパンも同時に販売する。毎月第4金曜日開催。		
10	ときわの森おもちゃ病院	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	こわれてしまったおもちゃを修理して、又使えるようになることで「物を大切にすること」を伝えていく。	5:地域		壊れたおもちゃを持ってきてもらい、地域のボランティアに修理してもらう。概ね毎月第4土曜日開催。		
11	男子の料理教室	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	男性が活躍するためのきっかけ作りとなる事を目的として、将来一人になっても困らないための料理教室。自主活動団体だいいんくらぶの参加者を同時に募る。	5:地域		レシピ作成、食材調達を活動中のだいいんくらぶにお願いして、他の参加者とだいいんくらぶのメンバーと一緒に料理作りを楽しむ。ヘルスメイトの協力も得る。9月開催予定。		
12	幼稚園ママに幼稚園のこと聞いておもう！	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	入園前の子どもの保護者を対象に幼稚園に関する情報を先輩の母親から情報発信してもらう事で、育児支援につなげて行く。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援拠点こっころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。		
13	子どもクッキング	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども同士一緒に調理することで、作る事の楽しさを感じ取ってもらう。コミュニティハウスの寺子屋事業の一環とすることで、より多くの小学生参加者が見込まれる。	4:子ども・青少年		小学3年～6年生を対象にハンバーガー作りを予定している。具材と一緒に作成して焼き上がったものをパンにはさんでを試食して交流する。7月開催予定。		
14	知って安心食中毒のまめ知識③	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	食中毒予防の知識を高めることでイベントや会食等で食品を安心して提供でき、安全に活動できる事を目的とする。	5:地域		食中毒予防のポイント確認やイベント時の調理に関する注意点、食品の取り扱い、手洗いチェックなど具体的な内容で予防についての講習を受ける。10月開催予定。		
15	ときわの森子育て広場親子サマーパーティー	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士の交流の場と、直接話し合っ情報交換などが楽しくできる場の提供を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		ケアプラザの外庭で水遊びとして、噴水シャワー・魚釣り・しよぼん玉・水でっぽう・バケツに水をはっての遊びなど、工夫して楽しんでもらう。7・8月開催予定。		
16	ときわの森中学生が活躍するボランティア活動	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	積極的にボランティア活動することでボランティア活動する意義や楽しさを感じ取ってもらい、将来につなげて行く。	7:その他		保土ヶ谷中学校が中心となって常盤台デイサービスに3～4名でレクレーションに参加して活動しながら高齢者と交流を図る。又、子育て広場の水遊びに参加して子どもを見守りながら一緒に過ごす。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）      5：共催（1と3） 6：共催（2と3）            7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者                    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域            6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	ヘルキー秋フェスタ&利用者発表会	平成29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	5:地域		利用者発表会・ケアプラザパネル展示・おもちゃ病院・障害者授産施設「陶」陶器・革製品販売・白根学園パン販売・野菜・花の販売。各種売店(お赤飯・やきそば・フランクフルト・最中・焼き菓子)などを予定。10月開催予定。		
18	第7回ボランティア感謝祭	平成25年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	活動団体の交流の場を設けることで、お互いの活動内容を把握でき、活動の励みになる。継続的なボランティア活動ができる場として支援していく。	5:地域		ケアプラザでボランティア活動されている団体・個人を招き、食事、演奏会を楽しんでもらい、意見交換会を行う。11月開催予定。		
19	ときわの森親子で楽しむクリスマス会	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士で音楽を通じたクリスマス会を開催し交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		クリスマスにちなんだ内容を企画し、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、ボランティアが中心となって作成したクッキーをプレゼントする。12月開催予定。		
20	ときわの森赤十字救急法基礎講習&養成講習	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	救急法の基礎講習&救急員養成講習。	5:地域		日本赤十字社の指導員のもと3日間で心肺蘇生法・AEDの使用法・気道異物除去法・傷の手当て(包帯・止血法)緊急搬送・担架搬送・応用担架等を学ぶ。修了者に対して受講証書を発行する。令和3年1月開催予定。		
21	第11回桜まつり	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	5:地域		バザー・フリーマーケット・各種食品販売など、地域の方々やボランティアの協力で開催する。令和3年3月開催予定。		
22	ときわの森幼児のための救急法	平成27年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親や家族に向けて幼児安全法の知識を習得してもらう事で、いざという時に役立ててもらおう。	5:地域		日本赤十字社幼児安全の指導員のもと幼児の事故防止と手当の方法について学ぶ。令和3年3月開催予定。		
23	ときわの森ハハトコ広場	平成26年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	土曜日に開催することで、母親だけでなく父親も参加できる事を目的とし、親子同士の交流も図る。	3:養育者及び乳幼児		土曜日に開催することで父親も一緒に参加してもらい、広い会場で親子同士交流する。令和3年2月開催予定。		
24	ほっとフレンズ2021春ボランティア研修・説明会 芋煮パーティー&花笠音頭	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して、春休みに障がいを持っている子ども達がボランティアと一緒に参加する。山形県をテーマとした芋煮会を企画し、準備から参加する。又、花笠を手作りして、花笠音頭を地域のボランティアと一緒に練習した後、保護者に花笠踊りを披露する予定。令和3年3月。		
25	八景島シーパラダイスへ行こう	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っていても充実したひと時を過ごせる活動の場の提供として、親子で安心して外出のできる場所を利用して親子同士の交流を図る。ケアプラザが連携して合同事業の拡充を図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業補助金を活用し親子参加で、八景島シーパラダイスアクアミュージアムを中心に見学をする。予定令和3年3月。		
26	ほどがや区民まつりの参加	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。タイトル「そうだね！ケアプラザへ行こう！」～おもちゃから苗木まで～としてシールアンケートを実施する。内容は①ケアプラザを利用したことはありますか？②こんな活動なら参加してみたい。を大項目とし、地域住民が地域で参加できる活動を分析して、ケアプラザの活動にも役立てる。回答してくれた後に苗木を配布する。10月開催予定。		
27	貸室大掃除大作戦	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体登録をされている利用者とケアプラザ職員と一緒に貸室の掃除をしてもらう事で交流を図る。	5:地域		各団体より1・2名募り貸室の掃除をしていただき、終了後はお茶会を開催する。12月開催予定。		
28	きらきら長寿ときめき塾	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施に対する意欲を高める。	1:高齢者		介護予防の為の運動、口腔、栄養の講座を提供し、その知識を生かして生活習慣改善に自ら継続的に取り組むことができるように支援を行う。5月、10月、12月、3月実施予定。		
29	スリーA講座	令和元年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	スリーAを体験しながら学び、リーダー以外の方でも地域のサロンや体操グループでスリーAを実施できることを目的とする。また、認知症予防に対する意識の向上を目指す。	1:高齢者		地域活動グループのリーダーや参加者に2回のスリーA講座を受講していただき、楽しみながら地域のサロンやグループでスリーAを継続実施できるよう支援を行う。8月予定。		
30	きらきら長寿ときめき塾(常盤台東部)	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善や介護予防に対する意識を高め、日々の生活の中で自己実施できることを目的とする。	1:高齢者		地域の食事に合わせて高齢者の低栄養予防に関する講義を行い、不足しがちな栄養を補うための方法やアイデアを紹介する。7月17日予定。口腔ケアとオーラルフレイル予防の重要性やケアの実践方法を学ぶ機会とする。10月8日予定。		
31	(仮)健康・運動の会	令和2年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	健康の維持・増進のために効果的な運動をグループで継続することで、高齢者が張り合いを持ちながら運動習慣を身に付けることを目的とする。年度末の自主化を目指す。	1:高齢者		隔月で運動講師の指導を受けながらグループメンバーが協力して運動を実施できるよう支援を行う。また、地域貢献の事業所からも軽運動や脳トレなどの支援をいただく。9月～第2、第4木曜日実施予定。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）      5：共催（1と3） 6：共催（2と3）      7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者      2：障害児・者      3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域      6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	スクエアステップリーダー・スキルアップ講座	平成30年	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象として、スキルの向上とグループ活動の活性及び継続支援を目的とする。	1：高齢者		講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割をご指導いただく。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。9月実施予定。		
33	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	1：高齢者		作業療法士より、リーダーの役割やグループ運営を円滑に楽しく行う工夫などを講義していただく。また、グループ運営の困りごとなどをリーダー同士が共有できる場とする。10月実施予定。		
34	ノルディックウォーキングin横浜国大	平成23年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく歩けるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。また、隣接する神奈川区との交流を図る。	1：高齢者		常盤台でノルディックウォーキングを実施している、やまゆりの会と神奈川区若竹苑のグループとの交流会と、ノルディックウォーキングに興味のある方への体験の機会とする。横浜ラポールの講師の指導の下、横浜国大キャンパスを楽しみながらウォーキングする。雨天の場合は施設内で実施する。10月27日予定。		
35	簡単！身につく！体力測定	令和元年	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	現在の自分の体力を知り、いつまでも集いの場に歩いて通える筋力と、話せる・食べられる口腔機能を維持するためのトレーニング方法を学び、実践してもらうことを目的とする。また、地域のサロン等で活動の中に取り入れられるよう、互いにサポートする方法を理解してもらう。	1：高齢者		地域で実践しやすい4項目の体力測定を行い、体育協会職員と区の担当保健師より、それぞれの強化方法を指導する。（ハマトレ、健口体操も取り入れる。）令和3年2月実施。		
36	きらきら長寿ときめき塾（和田）	令和2年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善や介護予防に対する意識を高め、日々の生活の中で自己実施できることを目的とする。	1：高齢者		口腔ケアとオーラルフレイル予防の重要性やケアの実践方法を学ぶ機会とする。参加者の状況に応じて咀嚼チェックガムの使用も検討。令和3年2月22日予定。		
37	健康講座	平成29年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	保土ヶ谷中央病院と共催事業として地域住民向けに健康講座を開催。いつまでも住み慣れた地域で誰もが健康的に過ごすことを目的とする。	5：地域		専門医に講師を依頼し講座を開催予定。12月は糖尿病さくら会の主催で調理教室を開催する。		
38	区内認知症講座	平成27年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	病院に診察に訪れる方や家族を対象に認知症講座を開き、ケアプラザに来る機会のない方々へ認知症の知識を持って頂く機会とする。ケアプラザに関する周知も行き区内全体でのケアプラザへの認知度向上も目指す。	5：地域		区民に対する認知症の理解、区内病院と連携し認知症の理解を推進する。あわせて相談窓口や認知症に關係する事業の案内等含めケアプラザの周知を行う。横浜保土ヶ谷中央病院、育生会横浜病院、聖隷横浜病院、横浜市立市民病院で開始予定。		
39	オレンジカフェ	平成28年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症の人と家族支援に向けた取り組みで「認知症カフェ」とする。カフェに参加して楽しんでもらい、専門職が交わり交流しご本人やご家族の悩みなども聞くことができるなど、地域で支え合う仕組み作りを目指す。	5：地域		認知症当事者の方もそうでない方も、誰もが参加でき集うカフェを開催する。ボランティアによる手作り菓子と飲み物を提供しゆつくりと和む時間と交流できる場所を提供する。7月9月10月12月に実施予定。		
40	終活講座	平成22年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	相続・介護・遺言・成年後見をテーマにして講座を行い地域住民の権利擁護の意識を高めることで自己実現が図れる事を目的とする。	5：地域		第1回目は9月12日市川司法事務所の協力を得て「家族で考える介護と相続」セミナー開催予定。第2回目は12月19日NPO法人つばさ「後見制度」セミナーを開催予定。		
41	ときわ・介護者のつどい「ゆづる」	平成22年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症の方を介護されている家族を対象に、定期的な意見交換などの交流やリフレッシュの場を設けることにより介護の抱え込みや介護負担の軽減が図れることを目的とする。	5：地域		毎回テーマを設けながら介護者同士の意見交換を行ってリフレッシュしていただき、介護負担軽減や抱え込み防止を図れるようにする。勉強会、施設見学、懇談会など開催。7月9月11月1月3月開催予定。		
42	出張講座	令和元年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	自治会主催の定例会などにエンディングノートの周知や健康講座など行い地域住民の方が自分の人生を自分らしく生きる為に元気に過ごしていただく提案をすることとする。	5：地域		エリアごとに自治会に出向いて「エンディングノート」に関して周知をしたり健康に関する講座を開催する。自治体の依頼により不定期開催。		
43	ときめい連絡会	平成28年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症について正しく理解してもらい、認知症の人や家族を見守ることが出来る方を増やす事で認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして携わってもらう事を目的とする。	5：地域		認知症サポーター養成講座を開催するに当たって、キャラバンメイトとして定期的に連絡会を開催して情報交換を行う。8月、12月、2月開催予定。		
44	認知症サポーター養成講座	平成21年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守ることができる力を身につけてもらう。家族や周りの人が認知症になっても安心して暮らせる地域を作っていくことを目標とする。	5：地域		企画運営をキャラバンメイトさんに参加してもらい認知症サポーター養成講座を行う。自治会、小学校、中学校、大学、企業向けに出かけて開催する。		
45	ピーポーワン	平成27年	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、愛犬のお散歩のとき見守りボランティアをしていただく。	5：地域		ボランティア登録者に毎日お散歩のときに利用していただく散歩バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただく。また、当事業の広報もかねて地域へ周知する。夏季以降で登録者の集まりを計画。		
46	常盤台わんこアワード2021	令和元年	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	日頃から地域で散歩している犬の写真を公募し掲示、投票してもらいグランプリを決めて掲示することにより、見守りボランティアにも興味を持っていただく。	5：地域		地域で散歩している犬の写真を公募し掲示、投票してもらいグランプリを決めて掲示する。秋以降に開催予定。		
47	ピーポーワン・ママ	令和2年	7：共催（1と2と3）		地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、子育て中のママにも地域の見守りボランティアに参加していただく。	5：地域		ボランティア登録者に毎日お出かけのときに利用していただく外出バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただく。また、当事業の広報もかねて地域へ周知すること夏季以降で計画。		

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）      5：共催（1と3） 6：共催（2と3）      7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者      2：障害児・者      3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域      6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
48	ワークショップ	平成23年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	老後も安心して住み続けられるまちづくりに向けた地域住民主体のワークショップ。	5:地域		地域住民と横浜国立大学建築計画研究室の学生が話し合い、理解を深める。今年度のテーマは、情報の見える化「まちのサインづくり」。昨年度に引き続き羽沢地区に声を掛け検討する。9月、11月、2月実施予定。		
49	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。地域向けイベント等担い手として活躍の場を広げていくような投げかけを行い、発掘支援していく。	1:高齢者		シニア男性、またはご夫婦を対象に月1回開催し、コーヒーの淹れ方を学ぶ。参加者と内容や方法を検討する機会を設け、主体的に活動を行えるようにする。原則毎月第2水曜日。		
50	出張コーヒー隊	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域向けにコーヒーを淹れる実践の場を設けることで担い手育成を行う。達成感や楽しさを味わうことにより、今後の自主的な活動への意欲を高めていく。	1:高齢者		男性かがやき塾～コーヒー編～でドリップコーヒーの淹れ方を学んだシニア男性が、地域活動団体等の場へ出張しコーヒーの提供を行う。		
51	「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会	平成29年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアの受入施設として、ボランティアに気軽に参加できるきっかけづくり、新たな担い手の発掘育成をするために開催する。またボランティア活動を通して高齢者社会参加、いきがいづくりも目的とする。	1:高齢者		ケアプラザの職員が講師として、よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を開催する。ボランティアポイント事業の概要、ボランティアの基礎知識及び留意点等を説明する。年1回秋頃の予定。		
52	ゴミ分別セミナー	令和2年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	環境問題の中で自分たちができることとして、生活に密着するゴミ分別を取り上げる。分別の知識を得るとともに、地域住民同士が互いを気に掛け見守り合い、誰もがいつまでも住みよい街づくりを考えるきっかけづくりにする。	5:地域		地域の環境事業推進委員、資源循環局の方からゴミ分別の方法を学び、地域住民同士の見守りについて考える。上半期実施予定。		